

○ 草の根パートナー型

平成18年度第2回 採択内定案件

I. 提案事業の概要	
1.国名	東ティモール
2.事業名	東ティモール アイレウ県におけるFamily Health Promoter養成プロジェクト
3.事業の背景と必要性	<p>独立後4年が経過した東ティモールでは、最低限の保健医療サービスが提供されるようになった。しかし依然として医療施設へのアクセスが困難なこと、医療従事者が不足していることから、僻地の住民には十分なサービスが行き届いていないのが現状である。</p> <p>東ティモール保健省は保健NGO、UNICEF、タイ公衆衛生省などと協力しながら、2005年よりFamily Health Promoter Program (FHPP) と題した保健ボランティア制度の導入に取り組み、地域住民が主体となって健康促進に努めることを目指している。</p> <p>当団体は2002年より保健教育促進プロジェクトを実施しており、保健省よりその斬新なアプローチが高く評価されている。本事業ではこれまでの経験を活かし、保健行政と協力して地域に根ざした保健ボランティア制度の確立のために貢献することを期待されている。</p>
4.事業の目的	SISCa (コミュニティでの包括的保健サービス) における保健ボランティア (FHP) の活動の質が向上する
5.対象地域	アイレウ県
6.受益者層	<p><直接受益者> アイレウ県・県レベルトレーナーチーム (District Trainer Team : DTT)、保健スタッフ、保健ボランティア (FHP)</p> <p><最終受益者> アイレウ県住民</p>
7.活動及び期待される成果	<ol style="list-style-type: none"> 1. 県レベルトレーナーチーム (DTT) によって、保健ボランティア (FHP) のキャパシティにあったトレーニングが実施される。 2. 保健ボランティア (FHP) によって母子保健についての保健教育が行われる。 3. 県レベルトレーナーチーム (DTT) と保健スタッフの協力により、モニタリング・スーパービジョンが改善される。 4. 県レベルトレーナーチーム (DTT) とSISCaを担当する保健スタッフが、シェアのパイロットSISCaで学んだボランティア活動の改善プロセスを県内の他のSISCaに普及させる。
8.実施期間	2007年8月～2010年8月 (3年)
9.事業費	49,987千円 (予定)
10.事業の実施体制	シェア東ティモールが実施主体となり、シェア東京事務局、運営委員会、アドバイザーグループ、理事会が専門的なサポートを行う。
II. 応募団体の概要	
1.団体名	特定非営利活動法人 シェア=国際保健協力市民の会
2.活動内容	アジア・アフリカ地域へ保健・医療専門家を派遣し、プライマリ・ヘルスケア、エイズ対策、母子保健、人材育成等のプロジェクトを実施している。日本国内でも、医療サービスを受け難い環境にある在日外国人を対象に医療相談等を行っている。